

## 農業改革の基本的視点

1. 我が国農業を巡る環境は極めて深刻であり、魅力ある農業・農業の成長産業化に資する農業改革は待ったなしの課題
2. 現状より未来に、今日より明日に目を向ける
3. 農業全体の生産性を維持・向上させるため、農地を農地として活用できない状態で将来に渡さない
4. 土壌から食卓まで、現場から世界までのサプライチェーンに存在する付加価値を最大限現場に取り込みつつ、コストを見える化し、農業者の所得向上につなげる
5. 多様な主体の新規参入を取り込み、大先輩と若者、地域と域外参入者や農外企業といった多様なコラボレーションを実現させ、経営革新と技術革新を目指す
6. 全国一律ではなく One to One、ブランド化、各農業者の特性を活かす  
ー付加価値モデル、ローコスト追求モデル等多様な経営手法の許容
7. 制度・政策・組織が農業者の創意工夫を制約しない  
ー標準化された簡素な手続、中立なレフェリー
8. 組織の中核メンバーの多様化（女性の参画を含む。）及び役割・組織の最適化並びに各事業の活性化・健全化を図る
9. 環境保全や安全保障のための施策は、農業の成長性・生産性の向上を目指した施策とは峻別して議論する

以上